

伊勢神宮崇敬会だより

みもすそ

特集 斎王の宮

お伊勢さんの歳時記

4月3日 神武天皇祭遙拝

4月4日 神田下種祭

4月13日 大麻用材伐始祭

4月21日 植樹祭

4月28日 春季神楽祭

4月30日 大祓

5月1日 神御衣奉織始祭

5月13日 神御衣奉織鎮謝祭

5月14日 風日祈祭

5月31日 神御衣祭

6月1日 大祓

6月1日 御酒殿祭

6月15日 月次祭

6月30日 大祓

内宮を流れる五十鈴川は、倭姫命が御裳を濯がれたことから「御裳濯川」(みもすそがわ)とも雅称されます。題字は本会会長の豊田章一郎による浄書。表紙は、京宮歴史博物館の展示(明和町)。

第82号
平成29年 春

まな役割を担う官人が数百人以上出勤めた役所（国家機構）だったのです。

齋宮寮が太宰府など他の国役所と異なるのは、齋王の私生活を支える内侍（命婦）、乳母以下の女官が組織されていたこと。女官らは齋王の身の回りのお世話をするだけでなく、歴史や和歌を教える教育係でもありました。

長らく埋もれていた齋宮の歴史を後世へ伝えるため、平成二十七年には齋宮寮の中心的な役割を果たした建物三棟が、発掘場所に実物大で復元されました。

その西側には、平安時代の区画が一望できる十分の一スケールの史跡全体模型が再現され、そばには盤双六や貝覆いなどの平安文化を体験できる「いつきのみや歴史体験館」があります。

参宮街道沿いにある竹神社は、齋王の宮殿があったと推定される神聖な場所。発掘調査では、女官がひらがなの練習に使ったといわれる墨書土器がここで見つかりました。町内には、ほかにも隆子女王の墓や、業平松など、齋王ロマンを伝える旧跡が点在しています。

竹神社から街道を東へ進んだ伊勢市小俣町には、齋王が神宮の祭りへ赴く際に宿泊したとされる「離宮院跡」が史跡公園として残され、梅や桜の名所となっています。

今年の齋王まつりは六月三・四日。ノハナシヨウブが咲く頃に、齋宮を訪ねられてはいかがでしょうか。

齋宮地図

明和町



「日本遺産」認定



隆子女王の墓



齋王の森



離宮院公園



1/10 史跡全体模型



いつきのみや歴史体験館



齋宮歴史博物館



MEMO
齋宮歴史博物館 入館料340円
TEL.0596-52-3800
※他施設は見学無料
※博物館、他施設とも月曜
(祝日の場合は翌日)休館